

りました。お酒が好きでかんじやの家でごちそうになり、はだか馬で送られてきたこともあったそうです。

かんごくから出た河野は、明治二十三年（一八九〇年）の第一回衆議院議員選挙きよから、大正十二年（一九二三年）になくなるまでいつも最高点で当選たけしています。このあいだ長安と子供の健雄たけおは、この地方の選挙責任者せきにんしやとなつて応援おうえんしつつづきました。また長安は、医院を教室にして村の子どもたちを集め、勉強やいろいろなことを教えました。

長安は生きているうちから自分がなくなつたときの名前をきめておき、河野に書いてもらつていました。大きなお墓には「自由院豊酒長安医居士じゆういんほうしゆちやうあんいこじ」と書かれています。自由の文字に注目して長安の生き方を考えてみましょう。

長安の長男が健雄です。健雄は明治十年（一八七七年）に生まれ、昭和十年（一九三五年）になくなつた人です。千葉医学専門学校ちばいagakせんもんがっこうを卒業して、医者いしやの家をつぎ